

#1:すべてを含む、無限に拡張するキリストについての神のみこころ (Thanks giving day conference) 2020/1/13-19

Overview: 私たちの神はみこころ、願いを持っています。神はみこころの熟慮(あるいは協議)の中で、神のエコノミーを定められました。私たちが神のみこころを認識し、私たちがすべてを含む、無限に拡張するキリストを知るために、あらゆる靈的知恵と理解力が必要です(I, II)。キリストが旧創造、宇宙万物の創造と新創造、召会において最初に生まれた方であることは、キリストが無限に拡張し、すべてを含む方であることを意味します。神のみこころとは、私たちが日常生活で、すべてを含む、無限に拡張するキリストの中で歩くことです。すべてを含む、無限に拡張するキリストは、私たちの天然の命と文化のあらゆる要素を、彼ご自身で置き換えることを願っています。それは私たちが一人の新しい人となって、彼の団体的な表現となるためです(III)。

I. 神は定められた御旨を持つ神であり、ご自身の喜びのみこころを持っています。神は彼のみこころのために万物を創造し、彼の定められた御旨を完成し、成就することができるようにしました:

啓4:11 あなたは万物を創造され、あなたのみこころのゆえに、万物は存在し、創造されたからです。

A. 神のみこころ(will)は神の願い(wish)です。神のみこころは、神が行ないたい事です。**エペソ1:9** みこころの奥義を私たちに知らせてくださいました。これは、神がご自身の中で計画された彼の大きいなる喜びによるもので。

B. 神の大きいなる喜び(good pleasure)は神のみこころから出て来ます。神の大きいなる喜びは、神のみこころにおいて具体化されています。

C. 神のみこころは、神の定められた御旨を完成するための決意(determination)です。

エペソ1:11 その方の中で、私たちも…みこころの熟慮にしたがってすべての事柄を行なう方の定められた御旨により、あらかじめ定められていたのです。

D. 神はキリストにある彼の啓示を通して、すなわち、キリストの肉体と成ること、十字架、復活、昇天を通して、彼のみこころの奥義を私たちに知らせました。

E. 神はみこころの熟慮(あるいは協議、counsel)にしたがってすべての事柄を行ないます。神のみこころは彼の意図(intention)であり、彼の熟慮は彼のみこころを完成する道を考えること(consideration)です。 **月**

II. コロサイ人への手紙は、神の大きいなる、永遠のみこころについての書です: **コロサイ1:9** 私たちもこの事を聞いた日から、あなたがたのために絶えず祈り、そして願い求めています。どうかあなたがたが、あらゆる靈的知恵と理解力において、神のみこころを知る全き知識で満たされ。**4:12** あなたがたのうち一人、キリスト・イエスの奴隷エパfrasが、あなたがたによろしく、彼はいつも祈りの中で、あなたがたのために奮闘しています。それは、あなたがたが完全に成長し、また神のみこころのすべてを十分に確信して立つためです。

A. この書で述べられている神のみこころは、小さな事柄における彼のみこころではありません。それは神の永遠のみこころ、神の大きいなるみこころです。

B. 全宇宙における、創造における、贖いにおける、現在の時代における、来たるべき時代における、永遠における神の願いと意図によれば、神のみこころが何であるかということ、コロサイ人への手紙は啓示しています。

C. 私たちは神のみこころを知る全き知識で満たされる必要があります:**1.** コロサイ1:9における神のみこころは、神の

永遠の定められた御旨に関する、キリストについての神のエコノミーに関するみこころです。**2.** 神のみこころを知る全き知識を持つことは、神のご計画の啓示を持って、神が宇宙で行なうのを計画している事を、私たちが知ることで:**a.** 神のご計画は、キリストを神聖なエコノミーの中ですべてとすることです。**b.** 神のご計画に対する啓示は私たちのために道を開いて、キリストをさらに多く経験させます。

3. すべてを含む、無限に拡張するキリストを知り、経験することは、「あらゆる靈的知恵と理解力」を必要とします:

a. 靈的知恵と理解力は、私たちの霊の中にある神の霊のもので。**b.** 知恵は私たちの霊の中にある、神の永遠のみこころを把握させます。靈的理解力は、その霊によって新しくされた私たちの思いの中にある、私たちが霊の中で把握したものを理解し、解釈させます。 **火**

D. 主のものにふさわしく歩くことは、神のみこころを知る全き知識を持った結果です。私たちがそのような歩みの中でキリストを生きます。**コロサイ1:9-10** どうかあなたがたが、…神のみこころを知る全き知識で満たされ、主のものにふさわしく歩いて、すべての事で主を喜ばせ、あらゆる善いわざで実を結び、神を知る全き知識によって成長し。**エペソ1:17** どうか、私たちの主イエス・キリストの神、栄光の御父が、知恵と啓示の霊をあなたがたに与えて、あなたがたに彼を十分に認識させ。

E. 私たちは完全に成長し、また神のみこころのすべてを十分に確信して立つ必要があります。 **水**

III. 私たちに対する神のみこころとは、私たちが、すべてを含む、無限に拡張するキリストを知り、彼を経験し、彼を私たちの命として生きることです:

コロサイ1:15 御子は、見えない神のかたちであり、全被造物の中で最初に生まれた方です。**17-18** また、御子は万物より先に存在し、万物は彼にあってまとまっています。そして御子は、召会であるからだのかしらす。彼は初めてであり、死人の中から最初に生まれた方です。それは彼ご自身が、万物のうちで第一位となるためです。

A. 神のみこころはキリストの中にあり、キリストに集中し、キリストのためです。キリストは神のみこころの中ですべてです。

B. キリストが当初の創造の中で最初に生まれた方であり、また新創造の中で最初に生まれた方であることは、彼がすべてを含み、また無限に拡張することを意味します:**1.** 無限に拡張するキリストは、宇宙よりも広大であって、私たちのすべてであるキリストです。

2. 私たちが信じる救い主また主であるキリストは、無限で、無尽蔵です。彼には制限がないので、彼についての啓示も必ず制限はありません。 **木**

C. コロサイ人への手紙で明らかになっているキリストは、すべてを含む、無限に拡張し、首位である方であり、神のエコノミーの中心性と普遍性、中心と円周です:

コロサイ1:17-18 また、御子は万物より先に存在し、万物は彼にあってまとまっています。そして御子は、召会であるからだのかしらす。彼は初めてであり、死人の中から最初に生まれた方です。それは彼ご自身が、万物のうちで第一位となるためです。**1.** コロサイ人への手紙は、すべてを含むキリストを啓示しています。この方は神であり、人であり、宇宙のあらゆる積極的な事物の実際です。

2. 神のエコノミーにおいて、キリストはすべてです。神はキリストを求めており、キリストだけを求めています。彼は、すばらしい、首位の、すべてを含むキリストです。彼はすべてであり、すべての中におられます。**3.** すべてを含む、無限に拡張するキリストは、神のエコノミーの中心です。神の分与は完全にキリストと関係があり、彼に焦点づけられています。

4. 神のエコノミーにおける神のみこころ、神の意図は、すばらしい、すべてを含む、無限に拡張するキリストを、私たちの存在の中へと造り込んで、私たちの命またすべてとならせ、私たちを三一の神の団体的な表現とならせることです。【命】

D. 神のみこころは、すべてを含む、無限に拡張するキリストが私たちの分け前、命、構成要素、平安となることです：1. コロサイ1:9で、神のみこころはキリストを指しています。神のみこころは深遠であって、すべてを含み無限に拡張するキリストを私たちが知り、経験し、生きることと関係があります。2. 私たちに対する神のみこころとは、私たちがキリストを知り、キリストを経験し、キリストを享受し、キリストで浸透され、キリストを私たちの命またパースンとすることです。3. 神のみこころとは、私たちが、すべてを含む、無限に拡張するキリストを持って、彼の中で歩くべきであるということです：a. キリストの中で歩くとは、彼の中で生活し、行動し、振る舞い、存在することです。

b. 私たちはキリストの中で歩くと、彼の中に根ざして下に向かって成長し、建造されて上に向かって成長します。

E. 私たちは、すべてを含む、無限に拡張するキリストにしたがって、すべての事を計り、評価すべきです：

【コロサイ2:8】だれもあなたがたを、哲学とむなしいだましごとによって、とりことして奪い去ることのないように、気をつけなさい。それは人々の伝統にしたがって、この世の初歩的教えにしたがうものであって、キリストにしたがってはいないのです。1. キリストは、すべての真の知恵と知識の支配する原則、すべての真の教えの実際、神に受け入れられるすべての概念の唯一の基準です。

2. 私たちは、すべてを含む、無限に拡張するキリストについて、神のエコノミーの中での地位をはっきりと見るときはじめて、欺きと虚偽を見破ることができます。

F. 私たちは、すべてを含む、無限に拡張するキリストで注入され、浸透され、飽和されて、ついには私たちの経験の中で彼に私たちのすべてとなっていた必要があります：【コロサイ3:10-11】新しい人を着たのです。その新しい人は、それを創造された方のかたちにしたがって全き知識へと至るように、新しくされつつあるのです。その新しい人には、…キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。1. すべてを含む、無限に拡張するキリストは、私たちの中にいます。しかし、私たちが彼を見て、彼を知り、彼で満たされ、彼で浸透され、絶対的に彼と一になる必要があります。

2. 私たちは、すべてを含む、無限に拡張するキリストに、私たちの全存在を満たしていただき、そして彼ご自身に私たちの文化と置き換わっていただくべきです：

a. キリストが私たちの天然の命と文化を彼ご自身で置き換えれば置き換えるほど、ますます私たちは、「生きるとはキリストです」と宣言できるようになります。私たちにあって、生きるとはキリストとなります。彼は私たちが完全に所有し、私たちが占有し、私たちが彼ご自身で満たします。b. すべてを含む、無限に拡張するキリストは、私たちの天然の命と文化のあらゆる要素を彼ご自身で置き換えることを願っています。それは、私たちが一人の新しい人となって、彼の団体的な表現となるためです。これがコロサイ人への手紙のメッセージです。【命】

Crucial Point(1):神のみこころを知って、すべてを含み、無限に拡張するキリストを経験する人生(I, II-A~C)

OL1:神のみこころ(will)は神の願い(wish)です。神のみこころは、神が行ないたい事です。

OL2:神はキリストにある彼の啓示を通して、すなわち、キリストの肉体と成ること、十字架、復活、昇天を通して、彼の

みこころの奥義を私たちに知らせました。

OL3:神はみこころの熟慮(あるいは協議 counsel)にしたがってすべての事柄を行ないます。神のみこころは彼の意図(intension)であり、彼の熟慮は彼のみこころを完成する道を考えることです。

OL4:すべてを含む、無限に拡張するキリストを知り、経験することは、「あらゆる霊的知恵と理解力」を必要とします。

神のご計画においてキリストはかしらであり、すべてのものをかしらにつり上げられます。全宇宙はキリストのためです。神が計画されたことは何であれ、神が行なわれたことは何であれ、神が行なっておられることは何であれ、キリストをかしら、中心、すべてとするためです。これが神の永遠の定められた御旨です。「キリストの中で、…すべてのものを、…かしらにつり上げ」という句は、神聖なエコノミーを示しています。

何度も聖徒たちは私の所に来て、ある人はへりくだっている、あるいは愛らしいと言うことによって、その人を称賛しました。しかし、1933年以降、私はある人についてのこのような称賛を聞くとときはいつでも、常に内側に疑問を持ちました。へりくだっているとはどういうことでしょうか？愛らしいとはどういうことでしょうか？ここでは古いアダムの一部がへりくだっている、あるいはここではアダムにある人が愛らしいということの意味するのでしょうか？クリスチャンの真のへりくだりと愛らしさはキリストご自身でなければなりません。他の人たちに対する私たちの愛はキリストでなければなりません。私たちの忍耐、へりくだり、知恵、知識、洞察力はキリストでなければなりません。

神のご計画に対する啓示は私たちのために道を開いて、キリストをさらに多く経験させます。…ですから、私たちはさらに多くの時間を費やして、神のご計画の中のキリストについて学ぶ必要があります。これは、なぜ私たちが聖書を読まなければならないかの最も重要な理由の一つです。

聖書は啓示の書です。聖書は宇宙のカーテン、宇宙のおおいを開いて、神の思いの中にあるものや、神がこの宇宙で行なおうと計画しておられる事を私たちに見せます。このご計画は、彼の御子をすべてとすることです。神の願い、ご計画、思いとは、キリストをすべてとすることです。これが全聖書の内容です。

適用:新人編

あなたが神のみこころを知る全き知識を持てば、神が宇宙で行っている事を知るでしょう。これは何とすばらしいことでしょうか。あなたが人生において、神のみこころに基づいた神のエコノミーを知らなければ、あなたの人生は矛盾と混乱に満ちるでしょう。しかし神が今、何を行っているのかを認識すると、あなたの人生観は光に満ち、矛盾と混乱はなくなります。

あなたは神のエコノミーを認識するために、(1)聖書を読み、(2)聖書の御言葉を祈りによって受け入れ、知恵と啓示の霊を持って御言葉を理解できるように祈るべきです。あなたの天然的な観念によれば、キリストはあなたの罪を赦すために十字架で死なれました。これは正しいのですが、神の救いは決して十字架に留まりません。だからキリストに関するあなたの天然的な観念の覆いが取られ、奥義の啓示によって、神のエコノミーの中のすばらしい卓越したキリストを知るために、聖書を読む時、心で主を愛し、心を開き、霊を活用して祈る必要があるのです。そうすれば、あなたが会社に行くのは、すべてを含み、無限に拡張するキリストを経験するためであることが分かります。

多くの人はそのようなビジョンと認識がないので、出勤の満員電車の中で暗い顔をしています。またアメリカ人は“Oh, God, it is Monday(OGIM)!”, “Thank God, it is Friday(TGIF)!”と言います。これは「もう月曜日だ、働かなければいけない!」、「金曜日だ、仕事が終わった!」という意味です。しかしあなたはビジョンを持った人として、毎朝、主の御名を呼び、御言葉を祈り読みして、復興され、喜びを持って出勤してください。主の中でいつも喜びなさい(Rejoice in the Lord always, **ピリピ4:4**)。毎日キリストを経験するという目的を持って会社に行けば、業績においてもGoing upを経験することができるでしょう。

祈り:「おお主イエスよ、私に知恵と啓示の霊を与えて、神のみことろと神のエコノミーを知らせてください。神のエコノミーにおいてキリストはすべてを含み、無限に拡張しています。私が今日、会社(あるいは学校)に行くのも、キリストを経験するためであることを感謝します。喜びをもってキリストを獲得するために会社に行きます! 神のみことろの認識を持ったクリスチャン生活は、何と卓越していることでしょう!」

Crucial Point(2):キリストが旧創造と新創造において卓越した方であるとは、キリストがすべてを含み無限に拡張することを示している。学校生活でキリストを中心と円周として経験する(Ⅲ-A)

OL1: 神のみことろはキリストの中にあり、キリストに集中し、キリストのためです。キリストは神のみことろの中ですべてです。**OL2:** キリストが当初の創造の中で最初に生まれた方であり、また新創造の中で最初に生まれた方であることは、彼がすべてを含み、また無限に拡張することを意味します。(キリストは天地万物の創造の中で最初に生まれた方であるとは、宇宙が無限に広がっているように、キリストが無限に拡張していることを示しています。また、キリストが新創造、新しい人の中で最初に生まれた方であるとは、「新しい人の中にはキリストがすべてであり、すべての中におられるのです(コロサイ3:11)」とあるように、キリストがすべてを含むことを示しています)。

OL3: コロサイ人への手紙で明らかにされているキリストは、すべてを含む、無限に拡張し、首位である方であり、神のエコノミーの中心性と普遍性、中心と円周です。

コロサイ人への手紙におけるキリストに関する啓示は、すべてを含み、無限に拡張しています。…キリストが当初の創造と新創造において最初に生まれた方であることは、彼が無限に拡張し、またすべてを含むことを意味します。新しい人の中にはキリストにだけ地位があります。キリストはすべてであり、すべての中におられます。これは彼がすべてを含むことを見せています。ところが、彼が全被造物の中で最初に生まれた方であるという事実は、彼が無限に拡張することを示します。

多くのクリスチャンは、キリストを受け入れるとはただ彼を信じることであり、と思っています。しかしながら、キリストを受け入れることは、それほど単純ではありません。…私たちの観念と伝統的な教理によれば、キリストはかなり単純です。多くの信者たちは、キリスト、神の御子とは私たちが愛し、私たちのために死なれた救い主であることを認識するだけです。キリストを信じるなら、私たちは救われます。しかしながら、コロサイ人への手紙のような書におけるキリストを受け入れることは、これよりはるかに多くのことを含みます。

キリストを受け入れることは、呼吸することと比較することができます。呼吸が継続的な過程であるように、キリストを受け入れることは継続的に起こるべきです。しかしながら、残念なことに、非常に多くのクリスチャンは、ただ初

めにキリストを受け入れたただけです。彼らは継続的に彼を受け入れていません。…もし私たちが継続的にキリストを受け入れないなら、初めに受け入れたキリストの完全な益を享受できません。

適用:青少年・大学生編

神の創造には旧創造と新創造があります。旧創造とは天地万物、人の創造を言っており、新創造は一人の新しい人としての召会を言っています。キリストは全被造物の中で最初に生まれた方です。ここでの最初に生まれた方とは、キリストの卓越性を言っています。また万物はキリストの中でまとまっています。言い換えると、キリストがなければ万物、太陽系、銀河系は大混乱に陥ってしまいます。しかし、主を賛美します。全宇宙はキリストの中でまとまっています。

コロサイ 1:15 御子は、見えない神のかたちであり、全被造物の中で最初に生まれた方です。**17** また、御子は万物より先に存在し、万物は彼にあってまとまっています。あなたの学校生活もキリストがなければバラバラになってしまいます。しかしキリストを持てば、秩序正しくまとまることができます。

キリストはまた新創造、召会の中でも最初に生まれた方です。**コロサイ 1:18** そして御子は、召会であるからだけのことです。彼は初めてであり、死人の中から最初に生まれた方です。それは彼ご自身が、万物のうちで第一位となるためです。学校生活において、あなたがキリストの卓越性を経験するために、祈る必要があります。祈りとは、もはや自分ではなく、キリストであることを宣言し、再確認することです。キリストは復活の中で命を与える霊となられました。あなたは主の御名を呼び求め、心を主に開き、霊に戻って、祈ってください。神があなたに求めているのは、キリストです。キリストをあなたの学校生活の中心とし、すべてとしてください。

例えばテストの準備において、あなたはキリストを勉強における知恵、理解力、集中力として経験してください。それだけでなく、キリストをあなたの息抜き、心の落ち着きと平安、良い睡眠として経験してください。勉強する時に、朝から晩まで勉強すればそれでいいのではありません。適切な集中力と同時に適切な娯楽、息抜きが必要です。そうでないと効率が悪くなってしまいます。勉強で忙しい時も集会に来て、キリストを享受することは良い息抜きです。優れた学生の兄弟姉妹は皆このことを証しすることができます。これはテスト勉強において、キリストをあなたの中心と円周とすることです。

祈り:「おお主イエスよ、コロサイ書におけるキリストは、私たちの制限された観念や理解をはるかに超え、すべてを含み、無限に拡張します。主を賛美します。私は絶えず継続的にあなたに開き、あなたを受け入れ続けたいです。それは私がこのキリストを知り、キリストの中を歩くためです。実際の学校生活で、キリストを私の勉強の中心性、理解力、集中力とし、普遍性、適切な息抜きとして経験できますように。アーメン!」

Crucial Point(3):神は私たち散らされ、分けられた人々を、キリストの中で集め、一人の新しい人にする事ができる(Ⅲ-C~F)

OL1: キリストが私たちの天然の命と文化を彼ご自身で置き換えれば置き換えるほど、ますます私たちは、「生きることはキリストです」と宣言することができますようになります。

OL2: すべてを含む、無限に拡張するキリストは、私たちの天然の命と文化のあらゆる要素を彼ご自身で置き換えることを願っています。それは、私たちが一人の新しい人となって、彼の団体的な表現となるためです。

私たちの内側の敵はこうかつです。私たちはある標準を持っています。それは私たちが受け継いだ標準か、それとも私たち自身のために作った標準です。これらの標準は良いので、私たちはそれらを罪定めしません。

召会の中の私たちすべてがこのメッセージを聞き、このビジョンを見て、私たちの文化的標準を罪定めする時が来ました。その時私たちは、神が求めておられるのはキリストであり、キリストは今日、命を与える霊であり、私たちの霊とミングリングされていることを認識するでしょう。私たちはある標準にしたがって生きるのではなく、ただ霊の中に住まわれるキリストによって生きるべきです。私たちは霊の中で生きる時、キリストに私たちの全存在を通して自由な経路を得ていただくべきです。そうすれば私たちは彼を享受し、彼を経験し、私たちの文化から救い出されるでしょう。

コロサイ人への手紙は、神がキリストを求めており、キリストだけを求めておられることを啓示しています。…神は哲学、宗教、規定、順守、どのような種類の「主義」も顧慮されません。神が求めておられるのはただ、すばらしい、首位の、すべてを含むキリスト、すべての中ですべてである方です。キリストはすべてを含みますが、私たちの命として私たちの中に住まわれます。内住する方として、彼は私たちの中に生きる機会を待っておられます。彼は生きており、真実で、実際に、便利です。一方で、彼は御座において万物の主です。もう一方で、彼は私たちの中で命を与える霊です。クリスチャン生活においても召会生活においても、キリストはすべてです。

これを見るなら、私たちは自分のすべての行ないをやめるでしょう。召会生活の中で、神は私たちがあまり多く行なっていることを願われません。彼はただキリストが私たちの中に生き、私たちの中で成長することを願われます。私が、「生きてるのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです(ガラテヤ2:20)」というビジョンを持つなら、自分が何かを行なうことができるとは決して思い込まないでしょう。私は自然に私が試みることをすべてやめるでしょう。なぜなら私は無であり、何者でもないこと、キリストがあらゆるものであることを認識するからです。私たちの中に住んで私たちの命となる方として、彼は私たちにとってすべてです。彼は私たちの聖、力、知恵です。しかし、彼は機会が与えられて、私たちの中ですべてとなる必要があります。私たちが彼に立場を与えるなら、彼は入って来てすべてとなり、すべてを行なわれます。

適用: 青年在職・大学院生編

神が欲しているのはキリストだけです。神のエコノミーのゴールである一人の新しい人には、キリストがすべての肢体であり、すべての肢体の中にいるからです。従って、神はあなたの天然の能力、へりくだり、愛らしさなどを受け入れません。なぜならそれらの中には神の命と性質が無いので、一人の新しい人の一部分になり得ないからです。コロサイ書に啓示されたすべてを含み、無限に拡張したキリストを知り、経験する目的は、一人の新しい人の出現のためです。新しい人の最大の妨げは文化的な良い基準です。新しい人の中には、キリスト以外のいかなる基準もありません。

近年、ビジネスがグローバル化されるにつれ、グローバル・カンパニーは従業員の間のダイバーシティ(文化的多様性の許容)の重要性に気付き、それを推進しています。しかし彼らがそれを実行するのは極めて困難です。

真のダイバーシティは一人の新しい人の中にあります。新約聖書は約2000年前から、「その新しい人には、ギリシヤ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、

奴隷、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです(コロサイ3:11)」と言っています。サタンの原則は私たちを分裂させることであり、神の原則は私たちを集めて一つにすることです。キリストの外では、真のダイバーシティ(Oneness)はありません。全てを含み、無限に拡張するキリストを経験し、一人の新しい人の召会生活を実行することは、世の人にとって福音、大きな証しとなります。祈り:「おお主イエスよ、あなたは私の中に生きておられます。私は自分の文化的な観念に従ってではなく、キリストに従って、キリストを生きたいです。キリストの外では、私たちは散らされ、分裂させられることしかありません。キリストの中へと成長し込み、一人の新しい人の召会生活を実行します。ハレルヤ、主を賛美します!」

今週のピックアップ: ある研究者は、以下の七つの質問に Yes と答えることができる人は、その人が考えている以上にビジネスの成功者であると言っています。私たちは聖書の観点からこれらの質問に答えることで、神の啓示に従えば、ビジネスなどにおいても成功できることを説明します。

1) 悩みを真摯に聞いてくれる親友がいるか?

Yes. 主イエスはあなたの最も親しい親友です。どんなことでも主に開いて交わることができます(詩歌 409)。さらにあなたは同世代の霊的パートナーやあなたを導いている兄弟姉妹にも心を開いて親しく交わることができます。

2) 職場で周りにいる様々な種類の人を受け入れているか? Yes. 性格的に気の合う人だけと付き合いのであれば、ストレスは少ないかもしれませんが、専門家(自己主張の強い変わった人が多い)から助けを受けられなくなります。召会生活はイエスが集められた人の集まりなので、天然的には合わない人がいます。しかしこのことはあなたがバランスよく前進するのに必要なのです。

3) 自分の自由を楽しむための十分な資金はあるか?

Yes. 主は既にあなたの払いきれない負債を十字架上で払ってくださいました。今、あなたが無代価で主と兄弟姉妹と交わり、益を得ることができるのは、主が膨大な資金(血の代価)を投入してくださったからです。

4) 失敗を、学ぶチャンスだと本当に考えているか?

Yes. 人は失敗によって多くの事を学ぶことができます。ですからチャレンジしないで、失敗しない戦略を取ってはいけません。チャレンジして失敗してもあなたは多く学ぶことができ前進できます。あなたは失敗した人を否定してもいけません。

5) 他人に有益な情報を与えられているか?

Yes. 召会の集会で預言することは、聞く人たちに建造、励まし、慰めとしてのキリストを語ることです。自分の霊を活用し、準備した預言を新鮮な靈感を持って語ることは、キリストを持って人を祝福することです。

6) 他人の功績を称えることができるか? Yes. 召会生活では「何事も、自分本位の野心から、また虚栄からするのではなく、むしろ謙虚な思いで、互いに他の人を自分自身よりすぐれていると思いなさい。おのおの自分の長所だけでなく、他の人たちの長所にも目をとめなさい(ピリピ 2:3~4)」とあるように、互いに称賛し合います。こうすることで自分の許容量が拡大し、他人の成功にもあずかることができるようになります。会社の中ではほとんどすべての事を人と取り組んで行うので、他人の功績を称賛することは重要な能力です。

7) 目指すべきゴールは明確になっているか?

Yes. 会社に行くのはすべてを含むキリストを経験するためです。キリストを経験することで業績の向上につながりますが、キリスト経験の究極のゴールは一人の新しい人の召会生活を実行するためです。